

平成 27 年 2 月 2 日

独立行政法人 水産総合研究センター
第 107 回 国際水産資源研究所 談話会
「北西太平洋移行域を対象とした生態系モデルの現況」
開催案内

開催趣旨：

このたびの談話会では、水研センターで北西太平洋移行域を対象とした生態系モデルの開発に関わっている研究者の方々に、それぞれの進捗をご紹介します。また、事実上の標準生態系モデルとして世界各地で使われている Ecopath with Ecosim の最新情報も紹介して頂きます。談話会を通じ、水産資源管理における生態系モデルの活用について検討ができればと考えています。なお、本談話会は、平成 26 年度所内シーズ研「北西太平洋移行域を主対象とした生態系モデル間の比較・統合に向けた予備的な検討」の一環として開催いたします。

日時：平成 27 年 3 月 13 日(金) 13:30～16:50

場所：水産総合研究センター 国際水産資源研究所 清水庁舎 会議室さくら

趣旨説明	国際水研 村瀬 弘人	13:30～13:35
1. Ecopath 30 周年カンファレンス・ワークショップ参加報告	国際水研 村瀬 弘人	13:35～14:05
2. 東北沖の底魚類を主対象とした Ecopath の構築	国際水研 米崎 史郎	14:05～14:35
3. 北西太平洋を対象としたサブモデルで構成する Ecopath with Ecosim 構築に向けて	中央水研 亘 真吾	14:35～15:05
休憩		15:05～15:20
4. ICES 複数種評価法ワーキンググループ(WGSAM)における生態系モデルの活用事例	中央水研 亘 真吾	15:20～15:50
5. カツオと小型浮魚の捕食-被食関係を考慮した生態系モデル	国際水研 清藤 秀理・東北水研 奥西 武	15:50～16:20
6. 総合討論		16:20～16:50